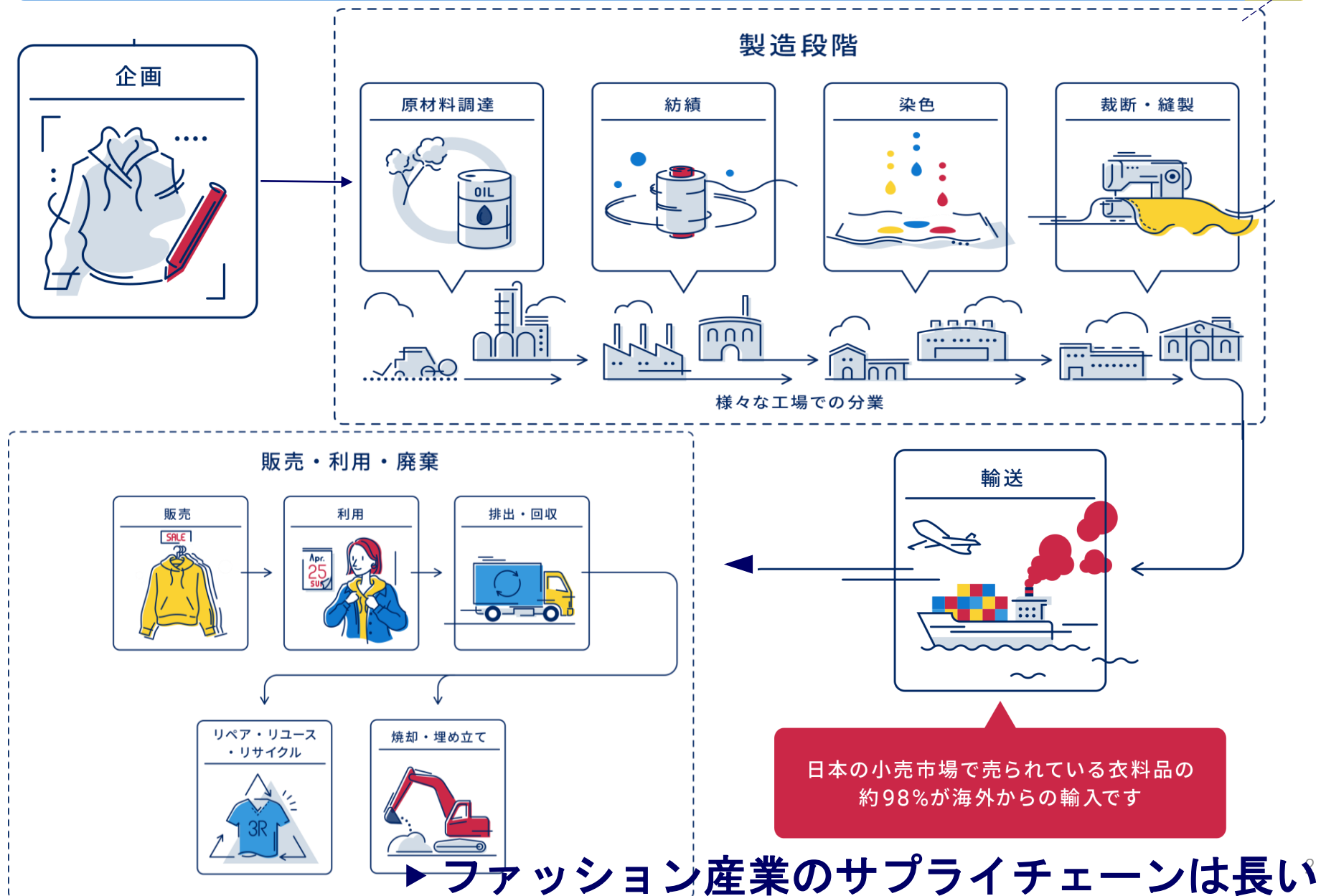


ファッションと環境



https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

衣服が作られてから廃棄されるまでの一生



ファッション産業が環境に与える影響

UN launches drive to highlight environmental cost of staying fashionable

「国連貿易開発会議（UNCTAD）では、ファッション業界が世界で第2位の汚染産業とみなされています。」

※一次資料未確認



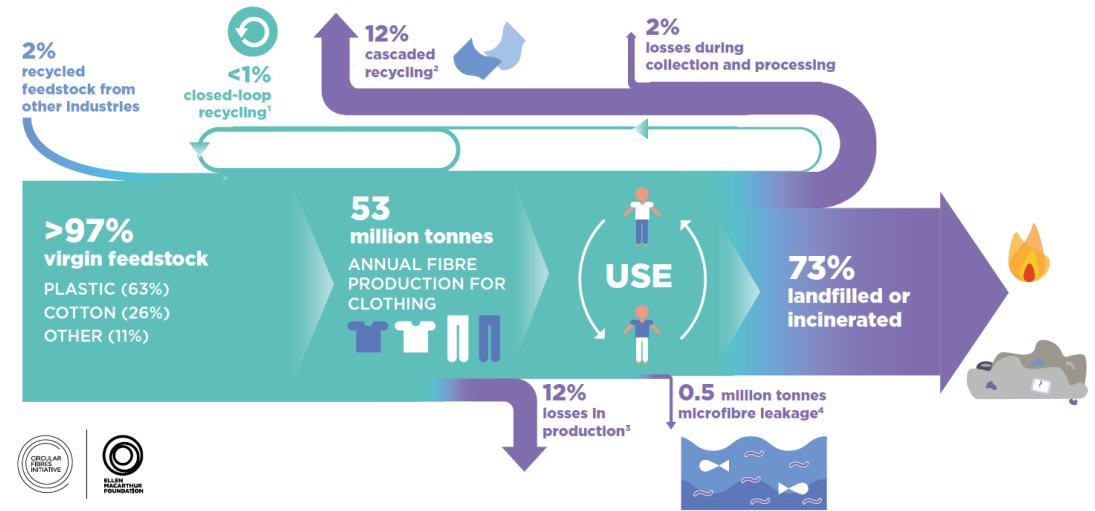
Source : UN News 25 March 2019 <https://news.un.org/en/story/2019/03/1035161>

- ファッション業界は毎年、**930億立方メートル**という、**500万人のニーズを満たすのに十分な水**を使用し、**約50万トンものマイクロファイバー**（石油300万バレルに相当）を海洋に投棄。
- 温室効果ガス（GHG）排出量は合計**12億トンのCO2**に相当、国際航空業界と海運業界を足したものよりも多い量を排出。

【出典資料】 A New Textiles Economy

- 過去15年間で、**衣料品の生産は約2倍**
- 繊維生産（綿花栽培を含む）は年間**約930億立方メートルの水**を使用
- 2015年、繊維生産からの温室効果ガス（GHG）排出量は合計**12億トンのCO2**に相当、すべての国際線と海運を合わせたものを上回る
- 世界の**工業用水汚染の20%**は、繊維の染色と処理に起因

FIGURE 3: GLOBAL MATERIAL FLOWS FOR CLOTHING IN 2015



- 1 Recycling of clothing into the same or similar quality applications
- 2 Recycling of clothing into other, lower-value applications such as insulation material, wiping cloths, or mattress stuffing
- 3 Includes factory offcuts and overstock liquidation
- 4 Plastic microfibres shed through the washing of all textiles released into the ocean

Source: Circular Fibres Initiative analysis – for details see Appendix B

- 洗濯中に放出された**約50万トンのマイクロファイバー**が、**毎年海洋に流出**
- 材料はほとんど埋め立て地に送られるか、焼却され、新しい衣料品にリサイクルされるのは**1%未満**で、毎年**1,000億米ドル**以上の材料が失われている
- 衣類の活用不足とリサイクルの欠如により、**毎年5,000億米ドル以上の価値が失われている**

Source : Ellen MacArthur Foundation (2017), A New Textiles Economy: Redesigning fashion's future
https://www.ellenmacarthurfoundation.org/assets/downloads/publications/A-New-Textiles-Economy_Full-Report.pdf

求められる生産背景の透明性

2013年4月24日「ラナ・プラザの悲劇」

- バングラデシュの首都ダッカ近郊の縫製工場が入った「ラナ・プラザ」が崩落
- 死者1,134人、負傷者2,500人以上

Fashion Revolution

- 衣服の生産背景の透明性を求める動きが活発化

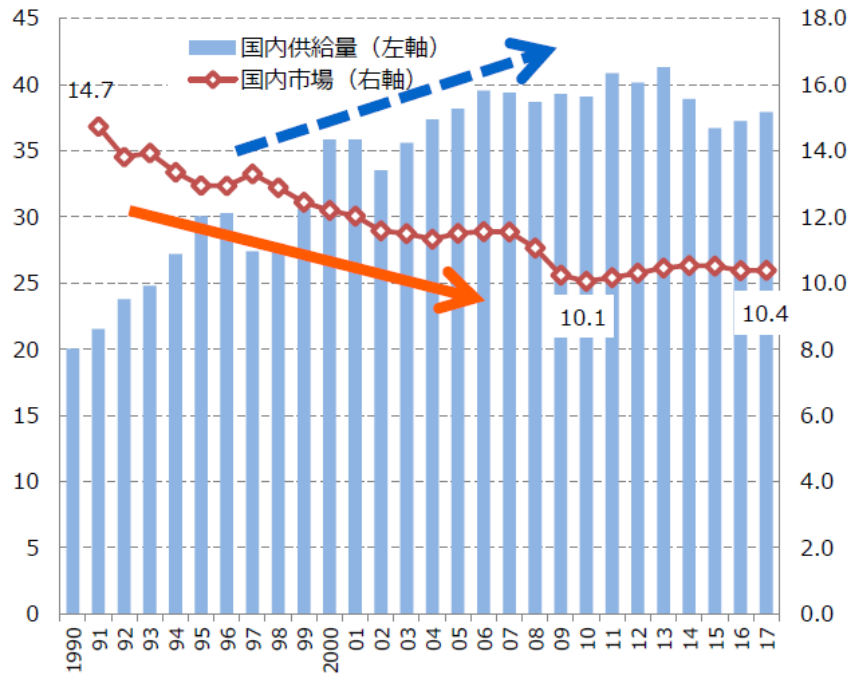


- ✓ <https://www.fashionrevolution.org/about/transparency/>
- ✓ https://issuu.com/fashionrevolution/docs/ver_fr_fashiontransparencyindex2020_170420

我が国のファッション産業

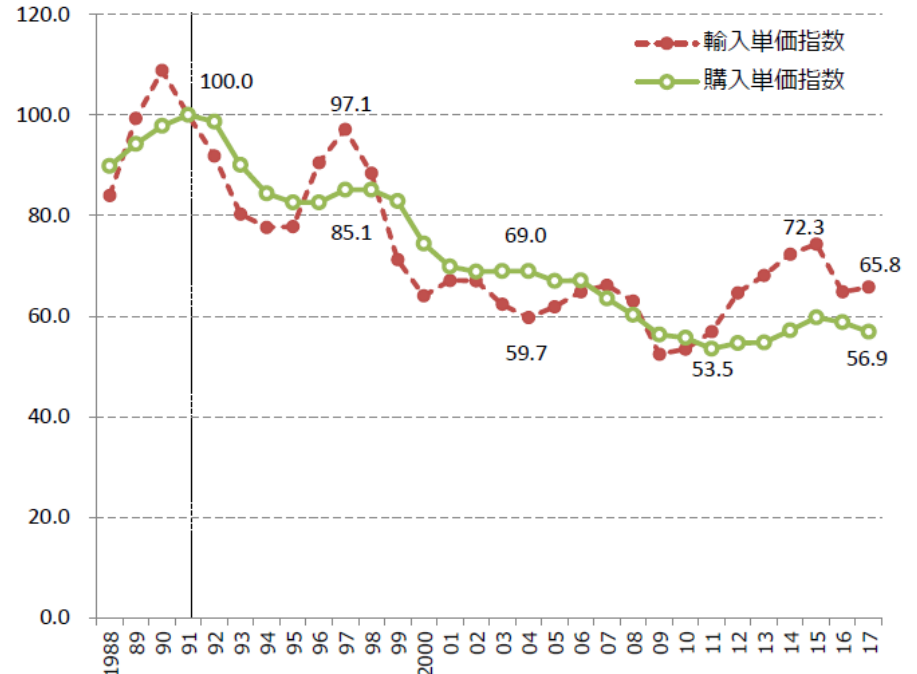
- 国内のアパレル市場規模は、バブル期の約15兆円から10兆円程度に減少する一方、供給量は20億点から40億点程度へと、ほぼ倍増している。
- 衣料品の購入単価および輸入単価は、1991年を基準に6割前後の水準に下落。

(億点) 国内アパレル供給量・市場規模の推移



出典：（国内供給量）経済産業省「生産動態統計」、財務省「貿易統計」
（国内市場）矢野経済研究所「繊維白書」※呉服・和装品等を含む

衣料品購入単価・輸入単価の推移

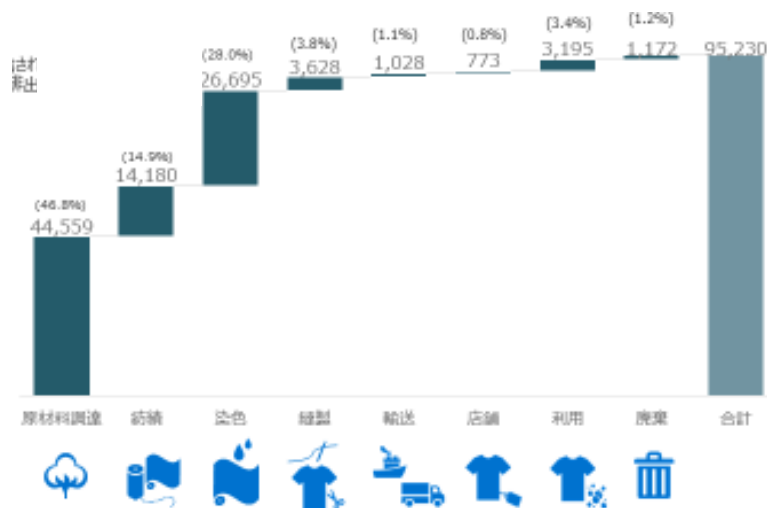


出典：購入単価=総務省「家計調査」、輸入単価=財務省「貿易統計」よりそれぞれ算出
※1991年を「100」とする

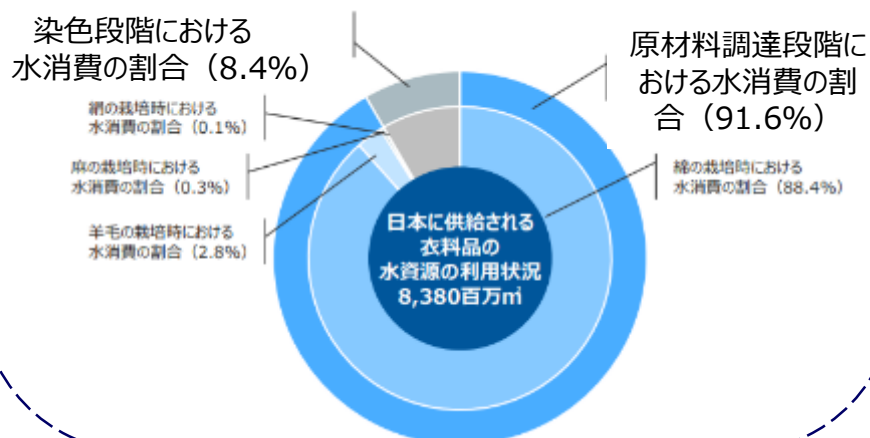
CO₂

原材料調達から製造までの環境負荷

国内に供給される衣料品のライフサイクルCO₂排出量



国内に供給されている衣料品のライフサイクル水消費量

CO₂排出量

約**90,000kt**

水消費量

約**83億m³**

※製造段階とは、紡績・染色・裁断・縫製・輸送を指します

服1着あたり換算

CO₂排出量

約**25.5kg**

水消費量

約**2,300ℓ**

ペットボトル(500ml)



約**255本製造分**

浴槽



約**11杯分**

※2019年時点における服の国内供給量約35.3億着をもとに算出しています

家庭から手放した後の衣服の行方

家庭から手放した後の衣服のマテリアルフロー



- ▶ 1年で供給される衣服は81.9万t
その9割に当たる78.7万tが
1年で手放される

- ▶ 手放された衣服の2/3は廃棄

1日あたりに焼却・埋め立てされる
衣服の総量 (平均)

1,300t/Day

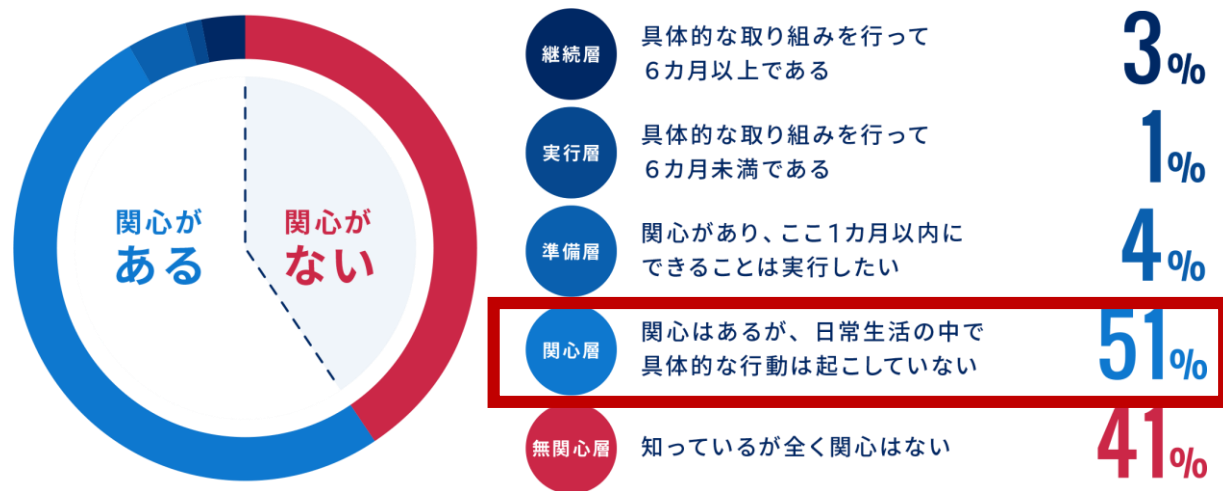
大型トラック



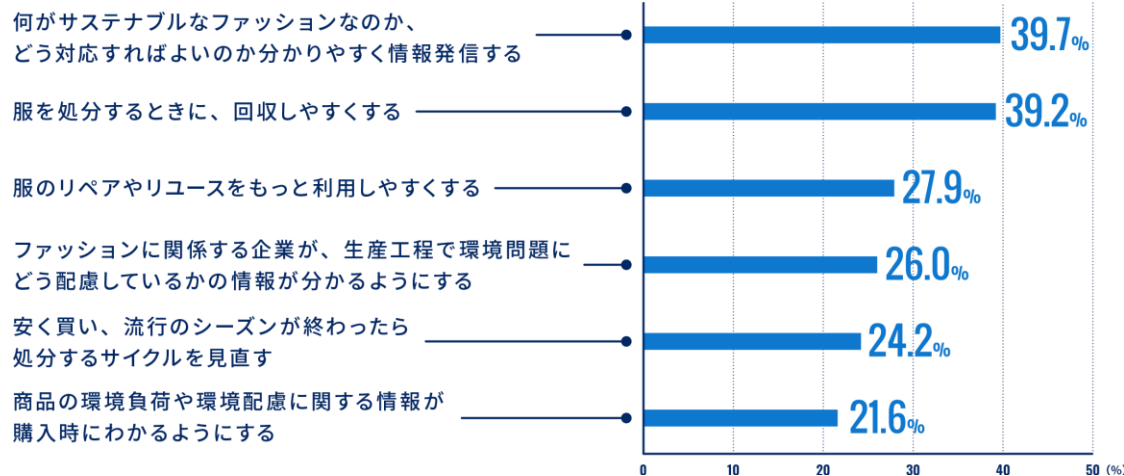
130台分

処分・
埋め立て
66%

多くの関心を集めるサステナブルファッション！



※衣服の生産から流通、消費、廃棄等における持続可能性を考慮し、地球環境や関わる人・社会に配慮した取組。例えばリサイクル素材やオーガニックコットンなどサステナブルな素材の選択や廃棄物の削減、再使用、再資源化の推進や支持などが含まれ、ここでは「エシカルファッション」や「スローファッション」など類似する概念も内包されることとする。



▶ 59.2%が関心あるが、その9割は行動に移せていない
 ▶ 行動のために求められているのが「情報発信」と回収・リペアなど「仕組みづくり」

サステナブルファッションに向けたアクション



1 今持っている服
を長く大切に
着よう



2 リユースで
楽しもう



3 先のことを
考えて買おう



4 作られ方を
しっかり見よう



5 服を資源として
再生利用しよう

生活者



▶ 1着との長いお付き合いを



企業



▶ 長く着られる丁寧な服作り



▶ お直しやリペアなど手を加えて愛着倍増へ

▶ リペアで新たな価値、顧客との長い関係づくりを

サステナブルファッションに向けたアクション



1

今持っている服
を長く大切に
着よう



2

リユースで
楽しもう



3

先のことを
考えて買おう



4

作られ方を
しっかり見よう



5

服を資源として
再生利用しよう

生活者



▶服をシェアして
楽しもう



▶セカンドハンド
(古着)で何度でも
楽しもう



企業



▶新たな服と出会え
る選択肢の拡大
(サブスクリプション、
レンタルサービスなど)

▶リユース市場の
活性化

▶アップサイクルへ
の挑戦

サステナブルファッションに向けたアクション



1

今持っている服
を長く大切に
着よう



2

リユースで
楽しもう



3

先のことを
考えて買おう



4

作られ方を
しっかり見よう



5

服を資源として
再生利用しよう

生活者



▶ 本当に必要か
見極めよう

▶ 長く着られ
る品質を選ぼ
う

企業



▶ 適正な在庫管理

▶ 短サイクル化の
見直し

サステナブルファッションに向けたアクション



1 今持っている服
を長く大切に
着よう



2 リユースで
楽しもう



3 先のことを
考えて買おう



4 作られ方を
しっかり見よう



5 服を資源として
再生利用しよう

生活者



▶ 衣服の素材や生産
ルート、環境影響を
確認しよう

▶ 再生素材など
サステナブルな
素材の商品を見つけ、
選ぼう

企業



▶ ライフサイクルの
環境影響を、トレー
サビリティを確保し
把握、開示

▶ 環境認証・ラベル
を活用し、分かりや
すく伝える

サステナブルファッションに向けたアクション



1 今持っている服
を長く大切に
着よう



2 リユースで
楽しもう



3 先のことを
考えて買おう



4 作られ方を
しっかり見よう



5 服を資源として
再生利用しよう

生活者



▶古着を店舗に持ち
込もう

企業



▶店頭回収の推進



▶古着を資源とし
て回収に出そう

▶服から服をつく
る循環構築

サステナブルファッションのイメージ



サステナブルファッションに向けた動き

- ◆ G20環境大臣会合及び気候・エネルギー大臣会合において、循環型ファッションが議論（2021年7月～8月）
 - ワークショップが開催され、コミニュケにも盛り込まれる
- ◆ サステナブルファッションアライアンス（JSFA）の設立
 - 環境省の勉強会をきっかけに2021年8月に11社で設立
 - 2021年11月12日現在正会員13社、賛助会員15社
 - 定期的に会議を開催し、知見の共有、協働の取組、生活者との双方向なコミュニケーション、国内外の重要動向の先行把握、業界内の共通課題の改善などのために必要な政策提言を関係省庁に実施
- ◆ サステナブルファッションの推進に向けた関係省庁連携会議
 - 2021年8月20日に消費者庁・経済産業省・環境省で設置



Transforming our world

- ファッション産業は環境・社会・経済で課題
- ファッションは暮らしを彩り、豊かにしてくれるもの
 - 問題は「大量生産・大量消費・大量廃棄」
- ファッションは、価値を創造し、時代を作るもの
- SDGs、カーボンニュートラルという時代の転換期に、ファッションが果たす役割は大きいのではないか？
- 「適量生産・適量購入・循環利用」と「適正価格」
- 生活者と企業とのコミュニケーション・協働がカギ
- 環境負荷の見える化やグリーンライフポイントでライフスタイルシフトを後押し